

研究課題名

ゲムシタビンベースの1次化学療法が耐性となった切除不能進行胆道癌における2次化学療法の治療成績—後向き観察研究

研究の意義・目的

切除不能胆道癌患者さんの予後の改善には有効な化学療法が必須ですが、保険適用のある薬剤はゲムシタビン、シスプラチン、S-1など、限られており、新規薬剤の開発が急務です。

今回の研究による2次治療の実施状況、有効性、および安全性のデータは今後の新規薬剤の開発における参考資料として大きな意義があるものとなります。

研究機関

杏林大学医学部付属病院

方法

本調査研究に対象となる患者さんのカルテを調査し、必要なデータを記録します。

プライバシーの保護と個人情報の取り扱いについて

本研究に関連するすべての情報は、研究の為にだけに用いられ、すべての個人情報は秘密厳守で取り扱います。

研究に必要なデータの記録には、患者さんの氏名・イニシャル・住所等、調査の対象となる患者さんを特定できる情報は一切記載しません。

※この研究に関するお問い合わせは、以下の問い合わせ先へご連絡ください。

〈問い合わせ先〉

研究機関名：杏林大学医学部付属病院 腫瘍内科

住 所：三鷹市新川 6-20-2

電 話：0422-47-5511（代表）

担当者：岡野 尚弘